

東日本大震災から3年を迎えて

東日本大震災から3年を迎えます。

あらためて、犠牲となられた方々に哀悼の意を表しますとともに、励まし合い、支え合いながら幾多の困難を乗り越えようとされている被災者の皆様に心から敬意を表します。

被災地では、住宅の高台移転をはじめ新たなまちづくりなど本格的な復興が進んできている一方、今も多くの方が、仮設住宅や県外での避難生活を余儀なくされています。

今こそ、阪神・淡路大震災を経験した私たちだからこそできる支援が求められています。復興事業を推進するための職員はもとより、まちづくりやコミュニティ再生などの経験を持つ専門家や励まし交流活動を行うボランティアの派遣を継続します。

来年には、阪神・淡路大震災から20年を迎えます。私たちの経験や教訓を被災地の復興に、そして次なる災害に生かしていかなばなりません。4月から1年間、「伝える」「備える」「活かす」を基本コンセプトに、県民総参加による「震災20年事業」を実施します。

阪神・淡路大震災では内外からいただいた多くの支援、人のやさしさと温もりが何よりの支えとなりました。これからも東日本大震災被災地の一日も早い復興を願い、息の長い支援をし続けていきます。

明日、政府主催の「東日本大震災三周年追悼式」が開催されます。これに合わせて、本県としても黙祷及び甲旗を掲揚することにより哀悼の意を表することとしています。

県民の皆様におかれましても、午後2時46分に合わせて、黙祷を捧げられますとともに、各機関等におかれては、甲旗の掲揚についてご協力いただきますようお願いいたします。

平成26年3月10日

兵庫県知事

関西広域連合長 井戸 敏三

東日本大震災から三周年にあたっての兵庫県の対応

1 黙祷の実施

3月11日（火）政府主催の追悼式に合わせての黙祷の呼びかけ

2 半旗の掲揚

県本庁舎、各県民局庁舎、県立施設等における半旗の掲揚

3 市町・団体等への要請

県下各市町及び関係団体等に対する黙祷の実施及び半旗を掲揚する旨の呼びかけ

東日本大震災 3周年 関連事業

(兵庫県内で実施)

No	行事名	日時	場所	内容	主催者	後援	参加規模	備考
1	東日本大震災生活復興・兵庫フォーラム	3月5日	神戸ポートピアホテル	フォーラム ・平成25年度復興庁からの委託事業「東日本大震災生活復興プロジェクト」の成果発信と被災地への継続的な支援の働きかけを目的としたフォーラムの開催 ・基調講演：「東日本大震災の生活復興に向けて～阪神・淡路大震災の教訓から考える～」(室崎益輝 (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長) ・プロジェクト委員会の兵庫及び東北の委員によるパネルディスカッション	(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構	岩手県 宮城県 福島県 兵庫県	一般500人程度	[21世紀研究機構] 078-262-5570 【復興支援課】 078-362-4336 (内線 5857)
2	阪神・淡路から20年 東北へのメッセージ (ひょうご安全の日推進事業)	3月8日	神戸市勤労会館	震災と心のケアを考えるシンポジウム ・阪神・淡路大震災時で出来たこと、出来なかったこと ・東日本大震災時の心のケア活動 ・救済者の惨事ストレス解消対策	震災と労働を考える実行委員会		一般、被災地の支援活動者 120人程度	【復興支援課】 078-362-4335 (内線 5855)
3	地域の防災は絆から！～東日本大震災避難被災者と市民をつなぐ (ひょうご安全の日推進事業)	3月8日～3月9日	豊岡市、香美町内施設	交流会 ・東日本大震災の県内避難者と兵庫県民を繋ぐ交流会を実施し、絆を深める。 ・神戸大学名誉教授より震災、原発、そして未来に向けての話聞く。 ・県内避難者からは、震災当時の話、避難後の生活について、神戸からの参加者からの阪神大震災後の話を聞く。	アジア子ども基金		県内避難者、学生、一般 110人程度	【復興支援課】 078-362-4335 (内線 5855)
4	東日本大震災から3年 忘れない3.11 (ひょうご安全の日推進事業)	3月8日～3月9日	篠山市、加西市、丹波市 たんば田園交響ホール	記念講演会(南三陸町 後藤一磨氏)、東日本大震災県民ボランティア活動報告(丹波市・篠山市・加西市ほか) 「祈りと絆」コンサート(篠山市) 東日本大震災県民ボランティア活動報告会(加西市)	いのちのうた		一般(加西市民、丹波市民、篠山市民ほか) 1000人程度	【復興支援課】 078-362-4335 (内線 5855)
5	揚がれ！希望の凧 2014in淡路	3月9日 14時～16時	県立淡路島公園	凧揚げ ・一日も早い復興を願い、「私たちも忘れていません」という思いを込めて、「希望の凧」を芝生広場で揚げる。	「3.11揚がれ！希望の凧」in淡路事務局	兵庫県園芸・公園協会 淡路市社会福祉協議会 県立淡路文化会館 淡路市教育委員会 他	一般200人程度	【淡路県民局】 0799-26-2008 (内線 215)
6	希望が花咲く日 追悼コンサート (ひょうご安全の日推進事業)	3月9日	人と防災未来センター	東日本大震災追悼コンサート ・命の大切さを伝えるコンサート、そして希望と光を胸に共に歩む素晴らしさを分かち合う日として、追悼と希望に関連する曲を届ける。 ・被災経験者の方を招待し、子ども、学生の参加を促し、復興と追悼について考える機会とする。	希望が花咲く日イベント実行委員会	兵庫県 神戸市 他	被災者と家族 一般 150人程度	【復興支援課】 078-362-4335 (内線 5855)
7	ひょうご安全の日推進事業 - 1.17は忘れない追悼の祈りと希望のコンサート - (ひょうご安全の日推進事業)	3月16日	新長田ピフレホール	新長田市民スティールオーケストラによる演奏。 宮城県被災地の仮設住宅や復興市場で行った演奏活動の報告、パネル展示。 ・演奏会を実施した仮設住宅の人達からのビデオメッセージをプログラムに組み込む。 ・3年目を迎えてもなお存続する被災地の状況を市民に紹介し、継続した支援や被災地との交流の必要性を訴える。	アスタ新長田スティールバン振興会		一般 300人程度	【復興支援課】 078-362-4335 (内線 5855)
8	震災19年 いのちの鼓動 輝ける未来へ 第77回こどものためのコンサート (ひょうご安全の日推進事業)	3月16日	北野工房のまち3階講堂 (神戸市中央区)	コンサート「追悼・支えあう大切さ」「しあわせ運べるように」他 阪神・淡路大震災の教訓の継承とし、震災当時の写真展示	(特非)IMMC		一般 150人程度	【復興支援課】 078-362-4335 (内線 5855)

9	笑顔ふれあいまつり～震災の寸劇、落語、芸能(ひょうご安全の日推進事業)	3月22日	尼崎市立小田公民館(尼崎市)	笑顔ふれあいまつり ・寸劇「転んじやだめよ、水戸黄門 ～健康体操で津波から率先避難」他 ・震災を忘れないために、東北と兵庫をつなぎ、阪神・淡路大震災の復興住宅と地域をつなぐ	地域を結ぶ笑顔の会	尼崎市 尼崎市社会福祉協議会 他	一般200人程度	【復興支援課】 078-362-4335 (内線 5855)
10	1.17は忘れない 追悼の祈りと希望のコンサート(ひょうご安全の日推進事業)	3月23日	兵庫県立芸術文化センター	追悼コンサート ・東日本大震災の県内被災者を招待し、追悼と癒しと活力を与える。 ・被災地域の視覚障害者を招待し災害に備えての共生社会づくりに寄与する。	(公財)アルカディア音楽芸術財団		一般、県内避難者、視覚障害者 400人程度	【復興支援課】 078-362-4335 (内線 5855)
11	好きやねん！東北(県内避難者相談・交流等支援事業)	3月25日 11時～18時	神戸市立地域人材センター	ワークショップ、ライブ演奏、東北紹介コーナー、県内避難者交流会 等 ・県内の高校生等が石巻市の高校生をゲストとして迎え、ワークショップ等を開催する。 ・県内避難者を対象にした交流会を実施する。	高校生国際ボランティア団体WIT H	兵庫県 神戸市 石巻市 他	一般、県内避難者 500人程度	【復興支援課】 078-362-4336 (内線 5857)
12	東日本大震災復興支援「防災シンポジウム」(ひょうご安全の日推進事業)	3月29日	兵庫県民会館	学識者による東日本大震災被災地での高齢者や介護者の実態や民間団体による阪神・淡路大震災の継続支援の実態報告 復興途上にある東北被災地の現状と支援活動についての講演・ディスカッション	(特非)うえるねず・コア21		一般 360人程度	【復興支援課】 078-362-4335 (内線 5855)

東日本大震災 3周年 関連事業

(被災地で実施)

No	行事名	日時	場所	内容	主催者	後援	参加規模	備考
1	みたびの春～兵庫より 思いをこめて～ (がんばろう東日本! アート支援助成事業)	3月2日 ～3月3日	石巻市	コンサート(ピアノ、サクソ、声楽で構成する被災者参加型コンサートを開催) 3月2日(日) 14:00～ 石巻市 N's-SQUAREホールにて 3月3日(月) 10:30～、11:20～ 石巻市立牡鹿中学校にて	川西音楽家協会 (公財)石巻市芸術文化振興財団		地元住民	【芸術文化課】 078-362-3171 (内線 2850)
2	兵庫県ボランティアの 派遣	3月10日 ～3月13日	名取市 仙台市 気仙沼市 岩手県 福島県	ボランティアバスの派遣 (1)3月11日 3.11追悼行事の運営支援(場所:名取市閉上地区) ・市内仮設住宅で兵庫の竹灯籠約300本を設置した追悼行事 (2)3月12日 宮城、岩手、福島県で「ボランティア割引制度」の実現に向けて啓発署名活動を実施 (場所:宮城県仙台市・気仙沼市、岩手県陸前高田市・大船渡市、福島県福島市・郡山市)	ひょうごボランティアプラザ (協働)神戸・市民交流会		地元住民 (一般ボランティア等60人 程度)	【協働推進室】 078-362-3996 (内線 2841)
3		3月16日 ～3月20日	仙台市 名取市 東松島市	神戸親和女子大学学生によるボランティアバスの派遣 (1)内容 被災地の児童施設や仮設住宅等で手作りおもちゃやお菓子を持参し交流する。 (2)場所 仙台市内の保育園・児童館7カ所、名取市内の児童センター1カ所、東松島市内の仮設住宅等2カ所	神戸親和女子大学 ひょうごボランティアプラザ		地元住民 (学生等26人)	【協働推進室】 078-362-3996 (内線 2841)
4		3月17日 ～3月20日	登米市 名取市	いなみ野学園学生によるボランティアバスの派遣 (1)内容 学生たちによる人形劇、マジックや演芸活動などの交流会を実施する。 (2)場所 登米市「南三陸町イオン南方店跡地仮設住宅」、名取市「愛島東部団地仮設住宅」(予定)	(公財)兵庫県生きがい創造協会・ いなみ野学園 ひょうごボランティアプラザ		地元住民 (生徒等20人程度)	【協働推進室】 078-362-3996 (内線 2841)
5		3月26日 ～3月29日	南三陸町	明石南高校と明石西高校生徒によるボランティアバスの派遣 (1)内容 仮設住宅で手作りの交流会や傾聴ボランティアを実施する。 (2)場所 町内の仮設住宅	県立明石南高校・県立明石西高校 ひょうごボランティアプラザ		地元住民 (生徒等24人)	【協働推進室】 078-362-3996 (内線 2841)
6		東日本大震災生活復興フォーラム	3月19日	仙台市	フォーラム ・平成25年度復興庁からの委託事業「東日本大震災生活復興プロジェクト」の成果発信と被災地への継続的な支援の働きかけを目的としたフォーラムの開催 ・基調講演:「東日本大震災被災地の生活復興～コミュニティの再生をめざして～」 (広田純一 岩手大学農学部教授) ・プロジェクト委員会の兵庫及び東北の委員によるパネルディスカッション	(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構	岩手県 宮城県 福島県 兵庫県	一般200人程度

7	被災地交流励ましボランティア活動助成事業 (ひょうごボランティアプラザ助成事業)	3月20日 ~3月23日	石巻市 南三陸町	励まし交流活動 ・NPO法人しゃらくが古民家再生(交流拠点づくり)や仮設住宅等で励まし交流活動を実施する。 (バス代の一部を助成)	(特非)しゃらく		地元住民 (一般参加者等21人)	【協働推進室】 078-362-3996 (内線 2841)
8		3月23日 ~3月26日	塩釜市 東松島市 石巻市	交流会 ・神戸甲北高校が手作り交流会や防災学習会を通じ、仮設住宅や地元高校等で励まし交流活動を実施する。 (バス代の一部を助成)	県立神戸甲北高校		地元住民及び地元高校生 (生徒等10人)	【協働推進室】 078-362-3996 (内線 2841)
9		3月24日 ~3月26日	気仙沼市	交流会 三田祥雲館高校が木工クラフトなどの手作り交流会を通じ、現地の公民館等で励まし交流活動を実施する。 (バス代の一部を助成)	県立三田祥雲館高校		地元住民 (生徒等11人)	【協働推進室】 078-362-3996 (内線 2841)
10		3月26日 ~3月29日	石巻市	励まし交流活動 ・NPO法人しゃらくとNPO法人生涯学習サポート兵庫が被災地の中高生等への励まし交流活動を実施する。 (バス代の一部を助成)	(特非)しゃらく (特非)生涯学習サポート兵庫		地元高校生 (中高生等24人)	【協働推進室】 078-362-3996 (内線 2841)
11	松井智恵と La崩Mie (がんばろう東日本!アート支援助成事業)	3月22日 ~3月24日	石巻市 仙台市 東松島市	コンサート ・被災地のテノール歌手である最上巖氏や東北学院高校放送部とのジョイントコンサートを開催する。 3月22日(土) 10:00 ~ 牡鹿半島 小竹浜集会所にて 3月22日(土) 13:30 ~ 石巻市 上大二会館にて 3月23日(日) 13:00 ~ 仙台市 仙台北協会にて (歌:松井智恵と La崩Mie、最上巖 朗読:東北学院高校放送部) 3月24日(月) 10:00 ~ 東松島市 ファミリーホーム ムトーの家にて	松井智恵と La崩Mie		地元住民	【芸術文化課】 078-362-3171 (内線 2850)

平成 26 年度 東日本大震災復興への支援

事業名等		事業内容	予算額	担当課室
1	復興業務を支援する職員の派遣	被災地の早期復興に向け、正規職員に加え、行政機関及び民間企業での実務経験者を任期付職員として採用し、被災地へ派遣 ・派遣職員数 71 人（うち任期付職員 49 人） ・派遣先 2 県 6 市 4 町 （宮城県、気仙沼市、南三陸町等）		人事課 078-362-3078 （内線 2432）
2	コミュニティの活性化、まちづくりへの支援	市内の N P O 等が東日本大震災被災地において実施するコミュニティ再生、高齢者の見守りやこころのケア等の実践活動を支援 （助成団体数：50 団体程度）	25,000 千円	復興支援課 078-362-4336 （内線 5857）
	ひょうごまちづくり専門家派遣事業	東日本大震災の被災地へ復興まちづくりのノウハウや教訓を伝えるとともに、ネットワークづくりやまちづくり活動組織の設立等を支援するため、阪神・淡路大震災における復興まちづくりを経験した専門家を被災地に派遣	19,500 千円	都市政策課 078-362-4324 （内線 4668）
3	健康・こころのケアの充実	被災地の子どもや家族が、こころとからだの健康について相談を行う「まちの保健室」の運営を支援するため、ノウハウをもつ兵庫県看護協会職員を派遣	1,953 千円	健康増進課 078-362-9128 （内線 3241）
	園芸療法等を活用した被災者支援	花と緑を育むことを通して被災者の心の癒しを図るため、園芸療法プログラムの体験等を支援	1,999 千円	公園緑地課 078-362-9309 （内線 4969）
	被災地への音楽療法士の派遣	被災した子どもとその家族のこころのケアを図るため、兵庫県音楽療法士会と連携し、被災地へ音楽療法士を派遣	1,039 千円	医務課 078-362-3135 （内線 2716）
	心のケアに係る教職員研修実施事業	被災地の児童・生徒の長期的な心のケア対策のため、EARTH 員を被災地へ派遣し、現地の教職員に対する研修会を実施	1,420 千円	教育委員会 教育企画課 078-362-3779 （内線 5746）

事業名等		事業内容	予算額	担当課室
4 ボランティア活動の促進	被災地交流励ましボランティア活動助成事業	ボランティアグループやNPO等が企画・運行するボランティアバス等に要する経費を助成（助成台数：100台程度）	20,000千円	協働推進室 078-362-3996 (内線 2841)
	被災地交流励ましボランティア活動支援事業	被災地でのボランティア活動に対する支援として、ひょうごボランティアプラザがボランティアバスを派遣（派遣台数：50台程度）	26,000千円	協働推進室 078-362-3996 (内線 2841)
	がんばろう東日本！アート支援助成事業	被災者のこころの復興を支援するため、被災地で無償で活動する芸術文化団体に旅費等の一部を助成	2,500千円	芸術文化課 078-362-3171 (内線 2850)
	高等学校等による被災地支援	被災地支援を通じて得られる経験を今後の防災教育に生かすため、東日本大震災の被災地へ高校生を派遣	2,190千円	教育委員会 教育企画課 078-362-3779 (内線 5746)
5 県内避難者の生活復興	民間賃貸住宅借上提供事業	兵庫県住宅供給公社が民間から借上管理している賃貸住宅を、県が応急仮設住宅として借上げ、県公社と連携し避難者に提供（21世帯）	18,925千円	公営住宅課 078-230-8455 (内線 4754)
	県営住宅入居支援事業	県営住宅を避難者に提供（7世帯）	63千円	住宅管理課 078-230-8470 (内線 4890)
	被災児童生徒就学等事業	本県に避難している幼児の保育料等を軽減するとともに、児童生徒の就学費用を援助（支援対象：99人）	9,907千円	教育課 078-362-3104 (内線 2526) 教育委員会財務課 078-362-3744 (内線 5633)
	音楽療法被災者支援事業	被災者のこころのケアのため、音楽療法士による参加型コンサートを開催	514千円	医務課 078-362-3135 (内線 2716)
	県内避難者相談・交流等支援事業	県内避難者を対象とした各種相談、情報提供、交流会開催等の実施に対し支援	2,500千円	復興支援課 078-362-4336 (内線 5857)
	東日本大震災被災者向け県臨時職員雇用事業	被災者の就労支援のため、被災失業者を県臨時職員として雇用（10人）	22,864千円	人事課 078-362-3078 (内線 2432)
	人権情報人材育成事業	のじぎく会館に「ひょうご人権情報バンク（仮称）」を構築する業務等で、被災者の雇用（非常勤嘱託員）を創出（3人）し、人権情報等に関する専門人材を育成	9,286千円	人権推進課 078-362-3229 (内線 3098)
6 東日本大震災被災地への新任職員の派遣	被災地における仮設住宅等でのボランティア活動を通じて、現場感覚や災害対応力の向上等を図るため、新任職員（約100人）を被災地へ派遣	2,477千円	人事課 078-362-3076 (内線 2427)	

南三陸町への新たな支援策について

1 趣旨

- (1) リアス式海岸の入り組んだ地形で営まれている主要産業の水産業については、漁港の仮復旧は概ね終了しているものの、職員のマンパワーやノウハウが十分でないことから、漁業の生産基盤や漁村の生活環境の整備が遅れている。
- (2) このため、南三陸町からの要請に基づき、本県から、課題解決能力とマネジメント能力を持つ技術職員と応援職員をチームとして派遣し、町職員との協働により、主要産業の復興と町民生活の安定を推進する。

2 支援体制

(1) 本県からの応援職員（3名）

- ・ 参事（マネジメントリーダー） 本県任期付職員（土木職OB（県局長級で退職））
- ・ 本県職員 民間企業による本県任期付職員（設計会社社員）
- ・ 本県市町職員 市町正規職員

(2) 町における執行体制

- ・ 町長の指揮の下、本県職員をリーダーとして、チームにより漁業集落防災機能強化事業等に従事
- ・ 地元漁村集体との事業調整の円滑化のため、地元職員との合同チームを編成

(3) 従事業務

- ア 漁業集落防災機能強化事業
漁業集落における地盤嵩上げ、共同作業用地、排水施設・集落道の整備等
- イ 漁港災害復旧事業
漁港施設の復旧・復興事業

(4) 実施時期

平成 26 年 4 月から

【参考】H26.4 南三陸町建設課 体制【現在調整中】

